

殿山第二小だより

令和 3年 6月 2日 第 9号
枚方市立殿山第二小学校
TEL:050-7102-9044
発行責任者 校長 山本 容子



6月に入りました。
正門玄関横の花壇に“あじさい”の
花が開花しています。

「もしも」の時に備えて その2

先週 26日（水）に、避難訓練（地震・火災・津波）を行いました。本来なら全校生が運動場に速やかに避難をすることになっていましたが、密状況を避けるため、運動場への避難はせず、教室での学習時に、地震が起こった時の身の守り方を実践することと、放送での話をきいて「もしもの時」のイメージを持つことを重視した訓練としました。

<放送での話 一部抜粋>

『校長先生は、「地震・火災・津波」ときくと、まず思い出されるのは、1995年1月17日に発生した「阪神・淡路大震災」です。

衝撃的だったことは、テレビの画面に阪神高速道路が波のようにうねった姿で倒れ、壊れている様子でした。そして、神戸市の街の様子から白い煙が幾筋も立ち昇っているとおもうと、瞬く間に真っ赤な炎が覆いつくしていく様子です。

思い返せば、阪神・淡路大震災後から、未だかつてない自然災害が、次から次へと起こってきたように思います。

2011年3月11日、「東日本大震災」。津波が多くの命を奪い去りました。その日夕刻のテレビ画面は、街の姿が消え、暗黒の静けさを映し出していました。

皆さんも覚えている災害では3年前、2018年6月18日に起こった「大阪府北部地震」ですね。登校途中（7時58分）に生起し、ずいぶん怖いおもいをしたことでしょう。

日本各地で、地震が起こっています。いつどこで何が起こるかわかりません。「もしもの時」に、自分自身の命を守るためにはどのように行動したらよいか。まず、「自分の命は、自分で守る。」こと。そのために、自分ができることを常日頃からイメージしておくことが大切なことと思います。』

学校では、いろいろな機会をとらえて、「命」の大切さ、尊さを話しかせ、子どもたち自身で考え、判断し行動に結びつくように学習をすすめていきたいと考えています。

年々、自然災害が大きなものとなってきており、コロナ禍も収束のめどもたっていない、難しい時代ではありますが、子どもたちの安全・安心な学校生活のために、現状の把握と、柔軟で臨機応変な対応が求められていると実感する今日この頃です。

保護者・地域の皆さまと連携しながら、子どもたちの健やかな心身の成長が図れる殿山第二小校区でありたいと思います。どうぞ、今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

学校での取り組みの様子や子どもたちが頑張っている様子など、個人情報には留意しながら、日々、ブログ・ホームページを更新していますので、ご覧になってください。

携帯サイト：
ブログQRコード

